

代官山公園Park-PFI 社会実験『Park-BAR代官山』

むつ市都市整備部都市計画課

2020年11月

『Park-BAR代官山』とは

代官山公園Park-PFIが目指す公園利用とコロナ禍における事業者支援として開催中の公園・広場活用イベント『KAMAFUSE MARKET』が織りなす、これからの屋外での賑わい空間に向けた検証の場です。

コロナでいろいろなことが変わってしまった。
これからの代官山公園で賑わいは生まれるのか？
『夜の街田名部』との人の流れや波及効果は創れるか？
そもそも代官山公園に人は来てくれるのか？

コロナ禍の生活変化や不透明な状況においても、
屋外空間を活用した事例から今後の事業展開に向けた
必要事項を検証

アフターコロナへの賑わい空間に向け、新しい生活様式に基づく
予防対策を実施し、屋外空間の代官山公園で
おしゃれな大人空間『Park-BAR代官山』を開催

Collaborated by むつ不動産取引センター / Produced by むつ市都市計画課

Park-BAR 代官山
2020/10/31 Sat
15:00~21:00

L'rod
エルロッド
Pas à pas
パサパス
ANARCHY STEAK CLUB
アナークイースターキークラブ
BAR Neutral
ニュートラル
and more...

ある夜。
代官山が、
BARになる。

Park-BAR
代官山

『KAMAFUSE MARKET』とは

コロナ禍における事業者支援から生まれたゲリライベント

保健所と市の協議により、屋外での出店したい事業者の臨時営業許可がスムーズに!!



①従来のイベント色からの脱却へ

- ・おしゃれな空間と良好な景観の形成

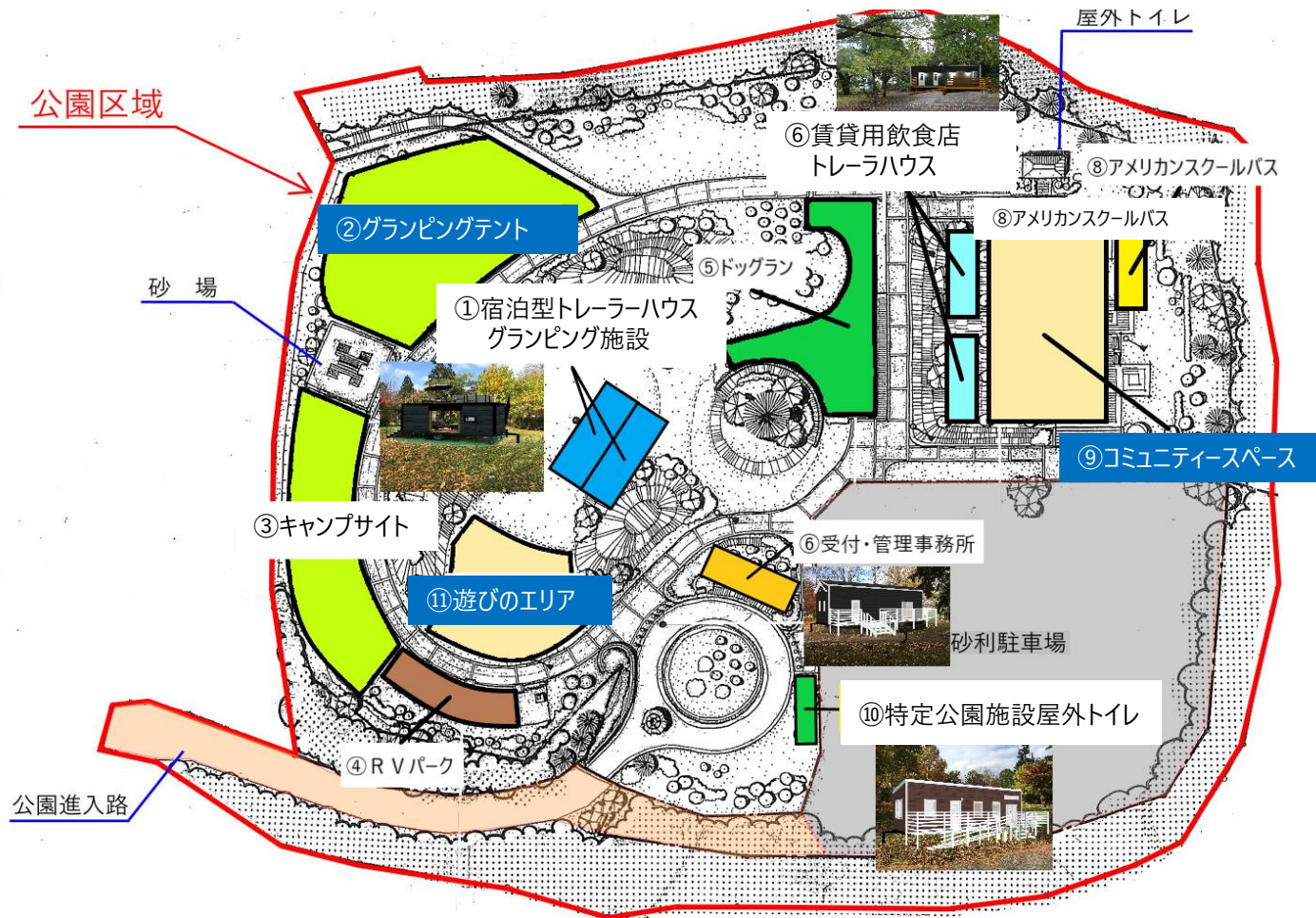
②公共空間の新しい使い方や新しいことへのチャレンジ

- ・身近な公共空間を利用した新しい空間価値を創出

民間アイデアを活かした地元食材コラボメニュー開発 等

代官山公園Park-PFI

代官山公園の植栽やイメージに合わせた配色のトレーラーハウスを設置し景観形成を図り、恐山街道へのアクセスの良さを活かした「下北半島観光のスタート地点」と「田名部地区のにぎわい空間」として整備



- ①宿泊型トレーラーハウス
グランピング施設
- ②グランピングテント
- ③キャンプサイト
- ④RVパーク
- ⑤ドッグラン
- ⑥管理事務所
- ⑦賃貸用飲食店トレーラーハウス
- ⑧賃貸用
アメリカンスクールバス
- ⑨コミュニティスペース
- ⑩特定公園施設屋外トイレ
- ⑪遊びのエリア

アフターコロナに向けたPark-PFI事業メニューの一部を実施



今はまだ何も無いこの空間から始まる
官民連携による賑わい

お試しライトライトアップ
(201019)



焚火



ハロウィンフォトスポット

にぎわいとおしゃれ空間に向けた事前準備





それぞれが公園での楽しみを見つけ



人が空間を創り出す



心を癒やす焚き火空間



音楽がある公園



社会実験により公園での事業メニューと波及効果を確認できた



密を避けた屋外空間でのイベント開催

Park-BAR代官山での新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 全般的な事項

- 各事項が適切に遵守されているか、会場内を定期的に巡回・確認する。
- イベント参加者・来場者・スタッフは、マスク着用（フェイスシールド含む）とする。
- 高頻度接触部位（テーブル、イス）を定期的に消毒する。

(2) 来場者の対応

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保を徹底する。

(3) Park-PFI事業者、飲食出店者の対応

- マスクの着用と手指消毒を徹底する。
- 次の症状に該当する場合は参加させない。
 - 37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、
 - 目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

※他市内イベントを参考に感染対策を実施。

